

上田ゆきこ

プロフィール

- 1981年6月5日富山県生まれ 音羽在住 ●富山県立高岡高等学校卒業
- お茶の水女子大学文教育学部卒業 ●お茶の水女子大学大学院修士課程修了
- 2007年文京区議会議員初当選 ●4期連続当選(ずっと無所属)
- 総務区民員会 災害対策調査特別委員会 ●会派 創[sow] 幹事長



私生活の中心は
文京区議会議員

無所属

4期の
実績

提案 令和4年度決算委員会において、シビックセンター期日前投票所の拡大など、さらに、投票しやすい環境づくりを提案しています。

文京区の期日前投票所一覧



- 1 汐見地域センター
文京区千駄木3-2-6
- 2 大原地域活動センター
文京区千石1-4-3
- 3 音羽地域活動センター
文京区音羽1-22-14
- 4 文京シビックセンター
1階アートサロン
文京区春日1-16-21

上田ゆきこの議会活動レポート vol.58 2023年4月発行

創Sow
〒112-0003 文京区春日1-16-21-22階
info@uedayukiko.jp

あなたの想いを聞かせてください。

home page facebook twitter

お知らせ 文京区議会議員選挙があります。

期日前投票 4月17日(月)～22日(土)
投票日 4月23日(日)

4期目の実績 上田ゆきこが実現してきたことの一部をご紹介します。

教育 個別最適な

2019年公約 ICTを活用した子どもの発表活動などの機会を増すために、タブレット1人1台を実現したい…

実現 コロナの休校等をきっかけにGIGAスクール構想が進展し2020年度、1人1台の教育用端末が配備されました！
(ギフテッドを含む個性豊かな子どもたちの個別最適な学びへの活用にも期待！)

コロナ前から1人1台を提唱していたのは **上田ゆきこ** だけ

医療・スポーツ 効果も効率も

2019年公約 都や区の不妊治療の助成制度があるけれど、所得制限があって利用できない…

実現 国の保険適用と都と区の特定不妊治療の一部助成により、所得制限の撤廃、事実婚の方の申請要件緩和といった対象者の拡充が行われました！

高齢者・若者 地域力アップ

まだまだ元気だし、高齢者と呼ばれたくない…
介護予防じゃなくて、スポーツジムなど、自分のペースで健康づくりがしたい！

実現 2022年度～、シニアのためのフィットネス教室(スポーツジム代の助成)により、年12回のフィットネス体験が無料に！
(2019年公約で、2021年に実現した認知症検診事業との組み合わせによる相乗効果に期待！)

文化・芸術・生涯学習 いつも身近に

コロナで芸術鑑賞の習慣が途絶えてしまった…
地域の文化・芸術施設を気軽に利用したい。

実現 2022年9～10月、ミュージアムネット加盟館の入館料助成キャンペーンにより美術館入館料が実質無料(上限1,000円)でご鑑賞いただけました。
(令和5年度はスタンプラリー！)



1 子育て



量も質も

- 文京区の地域資源を生かした幼児教育・保育の質
- 妊娠出産期から切れ目なく子育ての不安に応える相談体制

提案



大塚地域活動センター跡地に小石川青少年プラザb-labを新設し、中高生の居場所、活動拠点の地域偏在をなくすことなど

2 教育



個別最適な

- 地域の研究教育機関や企業等と連携する最先端の教育法や教材
- 個性豊かな子ども一人一人に個別最適な学習環境整備

提案



児童数の増加などにより狭くなっている学校敷地をタイミングを逃さず広げるための予算強化など

3 高齢者・若者



地域力アップ

- 高齢者が自分らしく暮らし続けられる健康づくりや見守り支援
- 介護者や若者が担い続けられるサービス提供体制の充実

提案



「中年の危機※」への健康面の啓発(男女の更年期支援)、経済面の相談体制(女性や就職氷河期世代の就労支援)の強化など
※ミッドライフクライシス、ミドルエイジクライシスともいわれる大人年齢特有の自己肯定感の変化などのこと。

4 文化・芸術・生涯学習



いつも身近に

- 文の京(ふみのみやこ)の文化資源の発信と芸術活動の拡充
- いつでもいつまでも学び続けられる環境の整備

提案



オンライン予約の導入により、区民会議室等の空き時間を無駄なく活用した自習室の拡充など

5 防災



公共自の備え

- 区民の安心のベースをつくる行政と地域のしくみづくり
- 自分と家族の命と生活を守るための日ごろの備え

提案



ペット同行避難ガイドラインの作成と各避難所マニュアル策定など
2019年公約から前向きな動きがありつつも継続。令和5年度に進捗の予定。

6 医療・スポーツ



効果も効率も

- 地域の医療資源を生かした公衆衛生や疾病予防
- スポーツの健康効果を最大化する施設整備と専門指導

提案



PFS※やナッジ理論※を活用した、がん検診の受診率の向上策など
※成果連動型民間委託契約方式
※選択の自由を残しつつ行動を促すこと。

7 まちづくり



ハードもソフトも

- 誰もが安全に暮らせるユニバーサルデザインのまちとコミュニティ
- ごみ減量や環境意識の向上で維持される清潔な生活

提案



公有地や民間遊休地の有効活用により、ボールが使える子どもの遊び場の増設と公園再整備のスピードアップを図ることなど

8 多様性



生き方あり方の尊重

- 文の京(ふみのみやこ)にふさわしい国際基準のジェンダー平等、多文化共生
- 誰もが当たり前にお互いを思いあえる障がい者福祉

提案



障がい者差別解消条例、手話言語条例の制定など
2019年公約から継続。
手話言語条例は、現在、区と当事者団体が調整中。